

中学校音楽科採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点	
1	(1)	楽曲名	交響曲第9番ホ短調作品95「新世界から」	内容を正しく捉えていけば、表現は異なってもよい。	5	
		作曲者名	ドヴォルジャーク	内容を正しく捉えていけば、表現は異なってもよい。	5	
	(2)	(ア), (エ)		順序は問わない。 2つとも合っているものだけを正答とする。	6	
	(3)	(ア)	ゆったりと遅く、広々とした気持ちで		内容を正しく捉えていけば、表現は異なってもよい。	各5×5
		(イ)	2つで、ユニゾンで			
		(ウ)	だんだん弱く			
		(エ)	弱音器をつけて			
		(オ)	B♭管に持ち替える			
	(4)	第3線に書かれたハ音記号		内容を正しく捉えていけば、表現は異なってもよい。	5	
	(5)	ダブル・リードを有する管楽器。普通のオーボエより完全5度低い。		内容を正しく捉えていけば、表現は異なってもよい。	5	
	(6)	※ 別紙 (計1枚)		問いを正しく捉えていけば、内容は異なってもよい。	40	
	2	知的な創作活動によって何かをつくり出した人に対して付与される他人に無断で利用されない権利。		内容を正しく捉えていけば、表現は異なってもよい。	5	

96

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 〔例〕	採 点 上 の 注 意	配 点								
2	<p>題材名 (楽器の音色の違いを感じ取り、三味線の特徴を理解して演奏しよう)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">時 間</td> <td style="text-align: center;">学 習 活 動</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">第1時間目</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○三味線の音色を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取る。 ・長唄「鳥羽絵」の一部を聴き、気付いたことや感じ取ったことを学級全体で共有する。 ・クラシックギターと三味線の音色の違いや、サワリの有無による三味線の響きの違いを聴き比べ、聴き取ったことや感じ取ったことを自由に話し合う。 ○三味線の音色や響きと楽器の構造や奏法との関わりを知り、実際に体験して、三味線の奏法への関心をもつ。 ・三味線を用いて、グループでいろいろな音の出し方を試しながら三味線らしい音色や響きを出すための音の出し方を考える。 ・三味線を弾くときの姿勢、ばちの当て方、勘所の押さえ方などを知り、三味線らしい音を確かめながら、実際に弾いてみる。 ・三味線の音色や響きと奏法との関わりについて分かったことを、ワークシートに書く。 ○三味線の「スクイ」と「ハジキ」の奏法を身に付ける。 ・姿勢、ばちの当て方、勘所の押さえ方、「スクイ」と「ハジキ」の奏法など、長唄「鳥羽絵」の一節を演奏するために必要な基礎となる奏法について互いに助言し合いながら、交替して演奏する。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">第2時間目</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○長唄「鳥羽絵」の一節を三味線で演奏する。 ・学級全体で、長唄「鳥羽絵」の一節「ぬらりくらり」の部分を口唱歌で歌い、節回しや間、奏法を確認する。 ・グループで、三味線と口唱歌を交替しながら、「ぬらりくらり」の部分を演奏し、互いに助言し合う。 ○三味線の音色や奏法に気を付けて、長唄にふさわしい演奏に近付けるためには、長唄「鳥羽絵」の一節をどのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 ・グループで、歌のみの音源に合わせて、「ぬらりくらり」の部分を演奏する。 ・「ぬらりくらり」の部分の模範演奏の音源を繰り返し聴き、自分たちとの演奏の違いに気付く。 ・三味線の音色や奏法、身体の使い方などに気を付けて、長唄にふさわしい演奏に近付けるためにはどのように演奏したらよいかを、グループで話し合っ工夫し、必要に応じてワークシートの楽譜に書き込む。 ・グループで話し合ったことを参考に、どのように演奏するかについての自分の思いや意図をワークシートに書き、再度演奏する。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">第3時間目</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○長唄「鳥羽絵」の一節を演奏する。 ・「ぬらりくらり」の部分の模範演奏を聴き、グループごとに前時までの学習を振り返る。 ・グループ同士で互いに演奏し合い、聴き合う。 ・「ぬらりくらり」の部分の模範演奏を参考にしながら、「三味線らしい音色で、長唄の雰囲気が表現できているか」という観点で、自分の演奏を振り返ったり、他のグループの演奏を聴いて感想を伝えたりする。 ○題材の振り返りをする。 ・ワークシートに振り返りを書く。 ・振り返ったことについて学級で意見交換し、本題材を学習したことの価値を共有する。 ・学級全体で、「ぬらりくらり」の部分を演奏する。 </td> </tr> </table>	時 間	学 習 活 動	第1時間目	<ul style="list-style-type: none"> ○三味線の音色を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取る。 ・長唄「鳥羽絵」の一部を聴き、気付いたことや感じ取ったことを学級全体で共有する。 ・クラシックギターと三味線の音色の違いや、サワリの有無による三味線の響きの違いを聴き比べ、聴き取ったことや感じ取ったことを自由に話し合う。 ○三味線の音色や響きと楽器の構造や奏法との関わりを知り、実際に体験して、三味線の奏法への関心をもつ。 ・三味線を用いて、グループでいろいろな音の出し方を試しながら三味線らしい音色や響きを出すための音の出し方を考える。 ・三味線を弾くときの姿勢、ばちの当て方、勘所の押さえ方などを知り、三味線らしい音を確かめながら、実際に弾いてみる。 ・三味線の音色や響きと奏法との関わりについて分かったことを、ワークシートに書く。 ○三味線の「スクイ」と「ハジキ」の奏法を身に付ける。 ・姿勢、ばちの当て方、勘所の押さえ方、「スクイ」と「ハジキ」の奏法など、長唄「鳥羽絵」の一節を演奏するために必要な基礎となる奏法について互いに助言し合いながら、交替して演奏する。 	第2時間目	<ul style="list-style-type: none"> ○長唄「鳥羽絵」の一節を三味線で演奏する。 ・学級全体で、長唄「鳥羽絵」の一節「ぬらりくらり」の部分を口唱歌で歌い、節回しや間、奏法を確認する。 ・グループで、三味線と口唱歌を交替しながら、「ぬらりくらり」の部分を演奏し、互いに助言し合う。 ○三味線の音色や奏法に気を付けて、長唄にふさわしい演奏に近付けるためには、長唄「鳥羽絵」の一節をどのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 ・グループで、歌のみの音源に合わせて、「ぬらりくらり」の部分を演奏する。 ・「ぬらりくらり」の部分の模範演奏の音源を繰り返し聴き、自分たちとの演奏の違いに気付く。 ・三味線の音色や奏法、身体の使い方などに気を付けて、長唄にふさわしい演奏に近付けるためにはどのように演奏したらよいかを、グループで話し合っ工夫し、必要に応じてワークシートの楽譜に書き込む。 ・グループで話し合ったことを参考に、どのように演奏するかについての自分の思いや意図をワークシートに書き、再度演奏する。 	第3時間目	<ul style="list-style-type: none"> ○長唄「鳥羽絵」の一節を演奏する。 ・「ぬらりくらり」の部分の模範演奏を聴き、グループごとに前時までの学習を振り返る。 ・グループ同士で互いに演奏し合い、聴き合う。 ・「ぬらりくらり」の部分の模範演奏を参考にしながら、「三味線らしい音色で、長唄の雰囲気が表現できているか」という観点で、自分の演奏を振り返ったり、他のグループの演奏を聴いて感想を伝えたりする。 ○題材の振り返りをする。 ・ワークシートに振り返りを書く。 ・振り返ったことについて学級で意見交換し、本題材を学習したことの価値を共有する。 ・学級全体で、「ぬらりくらり」の部分を演奏する。 	<p>題材名及び学習活動は、問いを正しく捉えていれば、内容は異なっていてよい。</p>	65
時 間	学 習 活 動										
第1時間目	<ul style="list-style-type: none"> ○三味線の音色を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取る。 ・長唄「鳥羽絵」の一部を聴き、気付いたことや感じ取ったことを学級全体で共有する。 ・クラシックギターと三味線の音色の違いや、サワリの有無による三味線の響きの違いを聴き比べ、聴き取ったことや感じ取ったことを自由に話し合う。 ○三味線の音色や響きと楽器の構造や奏法との関わりを知り、実際に体験して、三味線の奏法への関心をもつ。 ・三味線を用いて、グループでいろいろな音の出し方を試しながら三味線らしい音色や響きを出すための音の出し方を考える。 ・三味線を弾くときの姿勢、ばちの当て方、勘所の押さえ方などを知り、三味線らしい音を確かめながら、実際に弾いてみる。 ・三味線の音色や響きと奏法との関わりについて分かったことを、ワークシートに書く。 ○三味線の「スクイ」と「ハジキ」の奏法を身に付ける。 ・姿勢、ばちの当て方、勘所の押さえ方、「スクイ」と「ハジキ」の奏法など、長唄「鳥羽絵」の一節を演奏するために必要な基礎となる奏法について互いに助言し合いながら、交替して演奏する。 										
第2時間目	<ul style="list-style-type: none"> ○長唄「鳥羽絵」の一節を三味線で演奏する。 ・学級全体で、長唄「鳥羽絵」の一節「ぬらりくらり」の部分を口唱歌で歌い、節回しや間、奏法を確認する。 ・グループで、三味線と口唱歌を交替しながら、「ぬらりくらり」の部分を演奏し、互いに助言し合う。 ○三味線の音色や奏法に気を付けて、長唄にふさわしい演奏に近付けるためには、長唄「鳥羽絵」の一節をどのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 ・グループで、歌のみの音源に合わせて、「ぬらりくらり」の部分を演奏する。 ・「ぬらりくらり」の部分の模範演奏の音源を繰り返し聴き、自分たちとの演奏の違いに気付く。 ・三味線の音色や奏法、身体の使い方などに気を付けて、長唄にふさわしい演奏に近付けるためにはどのように演奏したらよいかを、グループで話し合っ工夫し、必要に応じてワークシートの楽譜に書き込む。 ・グループで話し合ったことを参考に、どのように演奏するかについての自分の思いや意図をワークシートに書き、再度演奏する。 										
第3時間目	<ul style="list-style-type: none"> ○長唄「鳥羽絵」の一節を演奏する。 ・「ぬらりくらり」の部分の模範演奏を聴き、グループごとに前時までの学習を振り返る。 ・グループ同士で互いに演奏し合い、聴き合う。 ・「ぬらりくらり」の部分の模範演奏を参考にしながら、「三味線らしい音色で、長唄の雰囲気が表現できているか」という観点で、自分の演奏を振り返ったり、他のグループの演奏を聴いて感想を伝えたりする。 ○題材の振り返りをする。 ・ワークシートに振り返りを書く。 ・振り返ったことについて学級で意見交換し、本題材を学習したことの価値を共有する。 ・学級全体で、「ぬらりくらり」の部分を演奏する。 										

中学校音楽科採点基準

3枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点		
3	<p>例えば、「この曲は優しく穏やかな感じがする」と感じ取った生徒が、リズムや旋律に着目し、楽譜を見て歌いながら、「そう感じたのは、四分音符や二分音符が多く、隣り合った音に移っていく、なだらかな旋律が繰り返されているからだ」のように、自分が感じ取った曲想と音楽の構造との関わりに気付くことのできるような指導。</p>	<p>問いを正しく捉えていれば、内容は異なっていてよい。</p>	各 10 × 2	20	
	<p>例えば、曲に対して「優しい感じの歌だ」というイメージをもった生徒が、「優しい感じ」を表すために、声の音色や強弱について様々に歌い試す中で、「優しい感じにするために、柔らかい声で、旋律の上がり下がりの動きに合わせて自然な強弱変化を付けて歌いたい」などのような思いや意図をもつ過程を重視した指導。</p>				
4	1	見えにくさ	<p>問いを正しく捉えていれば、内容は異なっていてよい。</p>	各 3 × 3	19
		聞こえにくさ			
	道具の操作の困難さ				
	2	<p>音楽を形づくっている要素（音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成など）を知覚することが難しい場合は、要素に着目しやすくできるよう、音楽に合わせて一緒に拍を打ったり体を動かしたりするなどして、要素の表れ方を視覚化、動作化するなどの配慮をする。なお、動作化する際は、決められた動きのパターンを習得するような活動にならないよう留意する。</p>	<p>問いを正しく捉えていれば、内容は異なっていてよい。</p>	10	

1

1 (6)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。